

私たちは、アサーティブジャパンを推薦します

不確実な世の中、今こそアサーティブを



大井健司

外資系企業勤務

「あたりまえ」が通用しなくなってきた社会だからこそ

「元上司が再雇用で部下になる」「会社の統廃合で文化の違う人と働くことが求められる」「介護休暇や産後育児休暇などからの復帰後に、時短勤務でパフォーマンスを出さなければ」「社員、契約社員、派遣社員の混合チームをどのように運営するか」「介護・育児・病気の治療をしながら、どうやって会社に貢献できるのか」…

雇用形態や働き方が多様化し、いままでの「あたりまえ」が通用しなくなっています。人と人とのつながり、特にコミュニケーションのとり方に関してはデジタル化が進み、表面的なやりとりや結果に目が奪われ、その裏にある本当の意図や感情を伝え合い、関係性を構築する機会が極端に減っています。

このような変化は、仕事のみではなく、学びの場や趣味といった個人を取り囲むさまざまなコミュニティ、そして家族などの身近な人間関係といった場面においても大きな影響を与えています。

だからこそ、この限られた機会をどのように活かし、コミュニケーションを通して信頼関係を構築することができるのか？が、今まで以上に大切になってきています。

工夫しつくされたトレーニング内容と特長

アサーティブ・トレーニングは、「自分も、相手も大切にして自分の考えを伝える」ための実践的な考え方やスキルを学ぶ場です。座学よりも、ロールプレイングや話し合いといった体験型の学びを多く取り入れることで、頭で理解することはもちろん、具体的に日常生活の中で「使える」ようになることを目的としていることが最大の特徴です。

講座では、自分のコミュニケーションのクセを知り、具体的にアサーティブのどの考えやスキルを身に着ければ良いのか？が身につく仕組みが施されています。また、他の参加者と学びを共有しながら進めていくことで多様性の重要さも自然に認識できるようになります。

このトレーニングを可能にしているのが、アサーティブジャパンが誇る個性豊かなトレーナー陣です。アサーティブジャパンではトレーナー育成には特に力を入れており、長い研修期間に加え、日々アサーティブの考え方を実践しているものだけがトレーナーとして認定されています。参加者が安心して学びあう「場」を作ることに強いこだわりを持ち、参加者のニーズに合わせて、用いる事例やレクチャーのポイントを工夫することで、より解り易く伝える努力を怠りません。また、社会的なステレオタイプを持たず、人権尊重の立場に立ったその関わりをとおして参加者一人ひとりをエンパワーし、アサーティブのロールモデルとして前に立つことが、研修を受ける企業様や参加者の皆様に「アサーティブジャパンがいい」と言っていただけ最大の理由です。

人生をより豊かに

人生100年時代と言われ、不確実であいまいな今の世の中だからこそ、この揺るぎのない「人権」に基づいたアサーティブの考え方は、「自分が自分らしくあっても良い」こと、そして「目の前の相手を一人の人間として認め、共感し、理解する」といった、関係作りの原点回帰となり、皆様の人生をより豊かなものにすると信じています。ぜひ体験してみてください。